

「庭でカモシカに遭遇(1)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

今朝、北軽井沢の私の山荘に、珍客が現れた。私の山荘がある、北軽井沢栗平(くりだいら)は、浅間高原でも一番東側の、鷹繫山(たかつなぎやま)の麓に位置する。庭にも、さまざまな野生動物が現れる。

一番多いのが**キツネ**。親子で現れることもある。次が**イノシシ**。こちらは集団(一族総出)で現れる。土を掘って、ミミズを食べるのだ。



タヌキもよく来る。タヌキは夫婦仲が良く、必ずと言って良いほど夫婦揃って現れる。あまり早く移動できないので、県道でよく車に轢かれているのを見かける。その場合も、2頭揃って倒れていることが多い。



こちらは**テン(ホンドテン)**。かわいい顔をしているが実は雑食性で、昆虫や小動物など何でも獰猛に餌にする。



一番困った存在なのが、この**アライグマ**。子どものうちは従順でペットとして飼われるが、大きくなると獰猛になって、手に余った飼い主が違法に放獣して、繁殖し野生化したものだ。こちらも雑食性で木登りも得意なので、畑の作物や野鳥の巣などが襲われている。



ハクビシンも多い。額から鼻にかけて、白い模様があるので、はっきり見分けられる。屋根裏に住み着く厄介者で、最近は都会にも多くなった。



アナグマは少し珍しい。めったに人前に現れない。